



CSR報告書 2016

活動の期間
2015.4 - 2016.3



公益財団法人 岡山県環境保全事業団

発行日: 2016年6月30日



Contents

- 03 理事長メッセージ
経営理念
- 04 組織概要
- 05 環境方針
環境活動の実績
- 06 環境関連法規などの遵守
全体評価と見直し結果
- 07 環境教育への取り組み
- 09 地球温暖化抑制への取り組み
- 10 地域貢献への取り組み
- 13 循環型社会形成への取り組み
- 14 安全管理への取り組み
- 15 人材育成・職場環境向上への取り組み

公益財団法人岡山県環境保全事業団は、岡山県内において環境保全のための各種事業を幅広く実施し、快適な地域社会の実現に貢献することを目的に1974年に設立されました。



理事長メッセージ

皆様方には平素から当事業団の活動に格別のご高配を賜りありがとうございます。岡山県環境保全事業団は、1974年(昭和49年)に設立され、「地球環境の保全」、「良好な生活環境の確保」、「資源循環型社会の形成」および「自然共生社会の形成」など、快適で持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的とし、行政施策と協調しながら多様な事業に誠実に取り組んでまいりました。

2015年度(平成27年度)の環境活動では、「水島クリーンセンターでの省エネルギーの推進」、「内尾事務所でのエネルギー使用量削減」などで成果を上げるとともに、環境学習センター(アスエコ)や新たに業務開始したエコアクション21地域事務局を中心に環境教育や普及啓発の取組において着実に前進することができました。

なお、一昨年8月に発生した水島第1処分場護岸からの「高アルカリ水流出」につきましては、環境保全を標榜する当事業団としては、あってはならない事態であり、排水設備等のハード面の整備とマニュアル等のソフト面の見直しを完了し、再発防止に向けて万全の対策を講じました。

今後とも当事業団の経営理念「わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します」を念頭に多様な事業を展開し、皆様方のご期待に応えられるように、全職員が同心協力し努力を続けていく所存です。

引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人
岡山県環境保全事業団
理事長 坂井 俊英

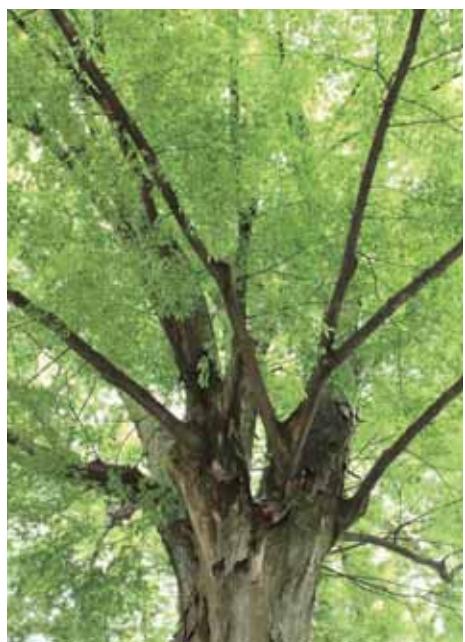


経営理念

わたしたちは環境関連事業を通して
社会の持続的発展に貢献します

経営基本方針

- ・新しい価値と質の高い環境関連事業を提供します
- ・誠実で透明性の高い経営で社会の信頼に応えます
- ・働きがいと公正な機会のある職場をつくります



行動規範

- ・社会倫理を重んじ規律・約束を守ります (倫理観)
- ・自ら考え、自ら計画し、自ら行動します (主体性)
- ・志を高く、枠を超えて、仕事に取り組みます (チャレンジ)
- ・対話を大事にし、思いと方向性を共有します (同心協働)



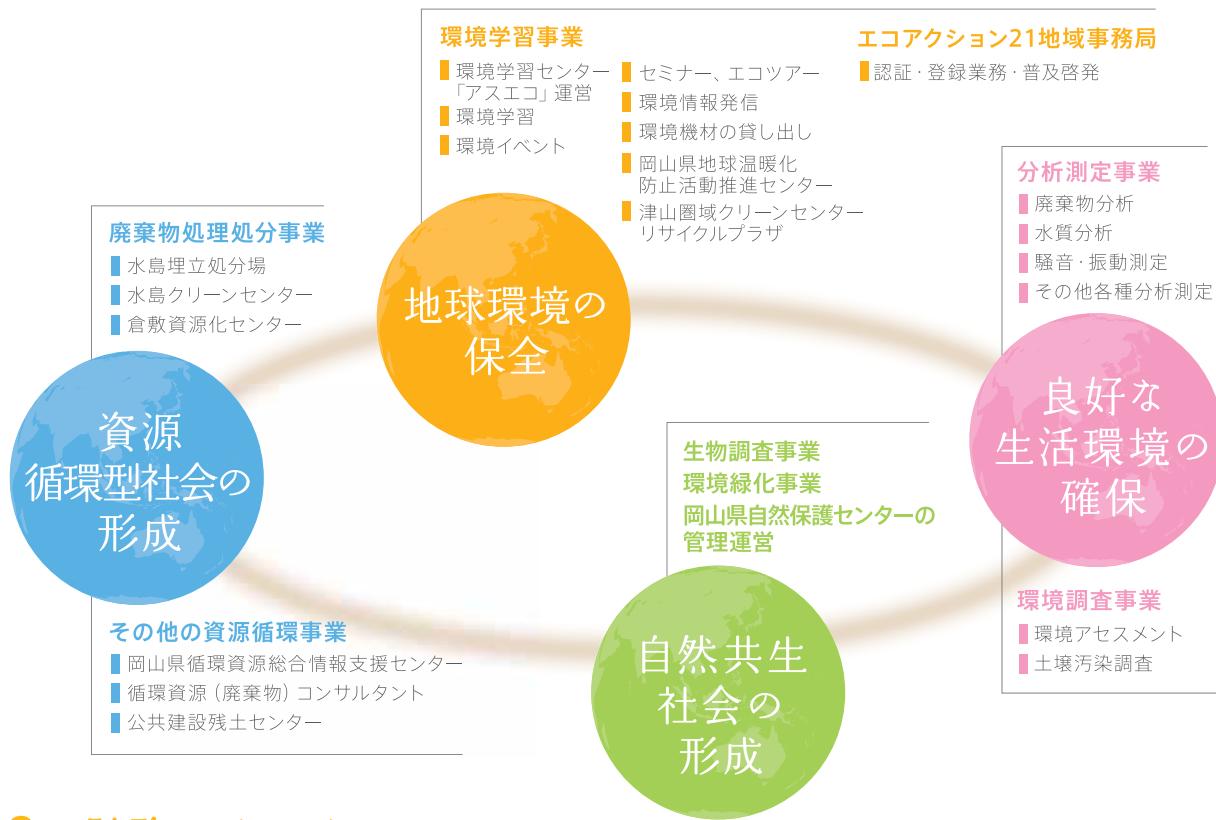
組織概要

1. 法人概要

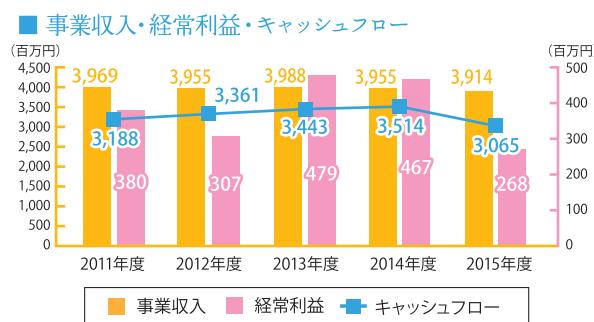
名 称 公益財団法人岡山県環境保全事業団
設 立 1974年10月1日
所在地〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1

代 表 理事長 坂井 俊英
出損総額 16億2,650万円
役職員数 評議員 14名 理事 10名 監事 3名 職員 111名
(2016年6月現在)

2. 事業活動内容



3. 財務ハイライト





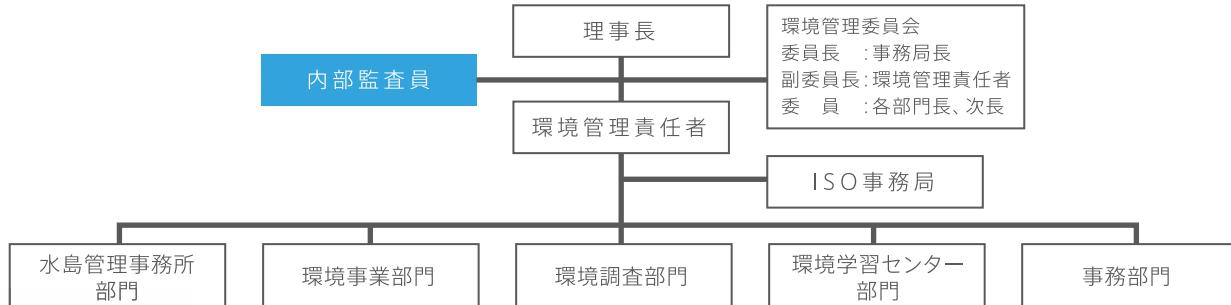
環境方針

私たちは、地球環境の保全が当面する人類の最重要課題の一つであり、全地球的な視点から環境の保全・改善に取り組まなければならないとの認識のもと、快適かつ持続可能な社会の実現と地域社会の共生に向けて、常に先導者としての役割を自覚し、知識と経験を生かして積極的に行動します。

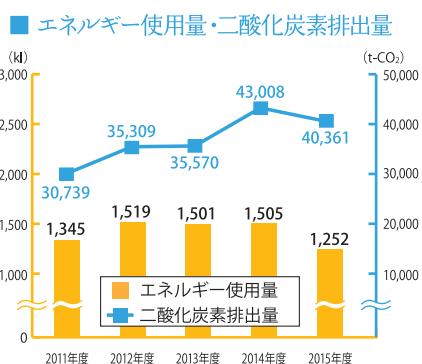
- 1.** 廃棄物の適正な処理処分と資源化、環境の調査・分析、緑の創出・管理、さらには県民の環境改善活動推進などの事業を通じて環境向上に寄与するとともに、地球温暖化防止、循環型社会形成、自然共生社会形成に向けた環境意識の普及・高揚に貢献します。
- 2.** あらゆる種類の汚染物質および廃棄物の発生、排出の抑制に努めるとともに、不測の事態による環境汚染を予防します。
また、エネルギーなど全ての資源の節減と有効活用に努めます。
- 3.** 環境関連の法規制、条例および協定を遵守し環境負荷の低減に努めます。
- 4.** 環境目的、目標を設定してその実現を図り、定期的な見直しにより環境管理システムの継続的改善と有効性向上を推進します。
- 5.** 事業団で働く、また事業団とともに働くすべての人に環境方針を周知します。
- 6.** 本環境方針は公開します。

2013年8月1日制定

環境管理の推進体制図



環境活動の実績





環境関連法規などの遵守

当事業団では、「環境関連事業を通して社会の持続発展に貢献する」という基本理念の実現のために、環境関連法規の遵守を最も基本かつ重要な使命のひとつと考えています。

可能な限り、環境負荷を低減するために法規制よりもさらに厳しい自主管理基準を設定しており、定期的に環境関連法規の確認や環境リスクの洗い出しを行うことで、法令違反や自主管理基準超過の未然防止に努めています。

自主管理基準を定めたものについては、日常的、定期的に監視・測定を行い、基準を超えた場合は、緊急措置を講じて直ちに状況の改善を図るのはもちろんのこと、原因究明および再発防止策を実施し、必要により情報公開や届出を行っています。

また、併せて管理方法や監視・測定のあり方にフィードバックするとともに、全部署で情報共有を行い、再発防止に努めています。

しかしながら、2014年度には水島第1処分場の雨水排水管から高アルカリ水が海へ流出する、という事案が発生しました。

原因は「処分場内の保有水水位の上昇と雨水排水構造物の劣化などの要因が重なったため」であることが、その後の調査検討により判明したため、2015年に再発防止のための護岸道路、排水処理設備等のハード面の整備、処分場保有水の水位管理方法や排水処理設備の運転管理マニュアル等のソフト面の整備を行いました。

今後、このような事態が再発することのないよう、全ての事業において法令の遵守を徹底するよう細やかな管理を行ってまいりたいと考えています。

【2015年度 環境法規制などの違反件数】

大気	水質	廃棄物	騒音・振動	臭気	地球環境
0	0	0	0	0	1

※上表の違反件数1件は、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づく簡易点検の一部実施もれ。

【処分場における環境目標と取組結果】

テーク	埋立処分場の安定運営と安全性の確保		
目標	水島第1処分場保有水と放流水の適正な管理		
取組結果	達成	○	護岸道路、排水処理設備等の整備、 処分場保有水の管理マニュアル等の作成、目標管理水位を維持、 水質監視の徹底



全体評価と見直し結果

1.環境方針

事業団の経営環境に大きな変化は認められていないので、現状の環境方針を維持継続する。

2.目的および目標

目標の定量化とパフォーマンスの向上に一定の成果が認められる。

3.EMSのその他の要素

- 1.内部監査員の養成と監査の有効性向上は評価できる。
- 2.新規格(2015年版)への対応は時間を掛けて検討を行う。従って、2016年度の定期審査は2004年版で受審する。
- 3.事業団はエコアクション21地域事務局業務を担当していることも考慮し、エコアクション21への移行を同時に検討する。



環境教育への取り組み

1. 環境学習出前講座

岡山県との協働のもと、温暖化、エネルギー、自然、ゴミ、持続可能な社会の5つのテーマを中心に、小中学校や地域団体などに対し、参加体験型の環境学習出前講座を実施しています。2015年度は、出前講座講師派遣を324件、受講者数21,037人に対して行いました。

■ 出前講座実施件数



環境学習

2. 環境学習センター「アスエコ」

環境学習センター「アスエコ」は、県内の環境保全活動の中間支援組織として、環境学習のコーディネートや体験型の各種イベントの実施、環境情報の発信・展示、関連図書・機材の貸出などを行っています。子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設として、2015年度は、7,763人の方にお越しいただきました。

イベントとしては、「夏のひみつのエコツアー」、「お魚調査隊in西川」、「木工クラフト教室」、「水島処分場バスツアー」、「岡山県自然保護センターバスツアー」などを開催しました。



常設展示



企画展示の様子

【環境学習センターにおける環境目標と取組結果①】

テー マ	環境学習センターの拠点機能を活かした事業展開	
目 標	温室効果ガス削減に向けた各種取り組みの実施	
取組結果	 おおむね達成	省エネサマー・チャレンジ参加者 …… 1,176件（目標1,300件） 緑のカーテン参加数 …… 215件（目標200件） アースキーパー会員数 …… 11,485会員（目標11,500会員） 普及啓発イベント数 …… 46回（目標10回）

3. かんきょうひろば

環境保全活動に取り組むNPO・学校・企業などが集い情報交換し、効果的な環境学習を提案・実施していく場として、環境学習協働推進広場(かんきょうひろば)を県から委託を受け運営しています(参加団体:2016年3月時点65団体)。環境学習出前講座、さんよう号、環境学習器材の貸出、団体相互の交流会の開催(おかやま環境教育ミーティング)、環境学習指導者養成講座などを実施しています。

【環境学習センターにおける環境目標と取組結果②】

テー マ	環境学習の充実と拡大	
目 標	環境学習指導者の養成、他団体との連携強化	
取組結果	 おおむね達成	環境学習出前講座の実施 …… 333件（目標250件） 移動環境学習車の貸出 …… 48件（目標50件） かんきょうひろばの参加団体 …… 65団体（目標70団体） 環境学習指導者の養成 …… 98名（目標80名）



おかやま環境教育ミーティング

4. 普及啓発活動

『岡山県地球温暖化防止活動推進センター』として、温暖化を防ぐために自ら環境への影響を減らす取り組みを行う「地球(アース)を守る人(キーパー)」の後押しを行っています。

■ アースキーパーによる取り組み成果を分かりやすく見える化



アースキーパーによる取り組みの見える化するしくみを運営しています。2014年度は、アースキーパー全体でCO₂を719t削減しました。これは杉の木が一年間に吸収するCO₂で置き換えると51,000本に相当します。

=1,000本

■ アースキーパー参加のイベント

アースキーパーを対象としたツアーやイベントを行っています。



アースキーパーのつどいの模様

■ アースキーパー会員数

2016年3月31日時点で11,485会員が参加・活動しています。





環境教育への取り組み

5. 岡山県自然保護センター

自然保護センターは、自然との触れ合いを通じて、県民の自然への理解を深め、その保護についての認識を高めるため、1991年11月、和気町（旧佐伯町）にオープンしました。100haのフィールドには約2,500種類の動植物が確認されており、自然観察や様々な自然体験活動を行っています。自然保護に関する指導者の養成研修、情報の収集・提供、調査研究、関連施設とのネットワークづくりなどを積極的に行ってています。



■ 自然学習リーダー養成講座

主に自然保護センターのフィールドを教材とし、専門家から「自然のしくみ」や「つきあい方」「楽しみ方」「伝え方」などを学ぶことで自然観察や環境学習の指導者を養成しています。その他にも、「きのこ基礎講座」「こけ入門講座」「たんぽの一年」「続・植物基礎講座」などの専門講座を開催し、自然の案内人の育成に力を入れています。



自然学習リーダー養成講座修了の様子

■ 初心者のための自然観察会・満喫自然体験

自然保護センターのフィールドで、初心者の方にも分かりやすく季節ごとの生きものについてガイドする観察会や、様々な体験を通じて自然や生きものに親しむきっかけを提供する自然体験系のイベントを開催しています。自然観察と有酸素運動を組み合わせたイベント「ノルディックウォーキング体験教室」など、どなたでも気軽に参加できます。



ノルディックウォーキング体験教室(中級編)

6. エコアクション21地域事務局

■ エコアクション21 認証取得研修会の実施

岡山県主催により、県内で初めてとなるエコアクション21の認証取得を目指した研修会を企画、募集しました。定員を上回る事業者の方にご応募頂き、2016年5月に研修会をスタートしました。



エコアクション21認証取得研修会の様子

■ エコアクション21 10年継続事業者表彰式の開催

エコアクション21は、環境省による2004年の制度創設から、全国で約7,600を超える事業者の方が取り組み、大きな成果を上げています。制度創設から10周年の節目を迎えたことを記念し、10年にわたりエコアクション21に取り組まれている事業者へ感謝状を贈呈しました。



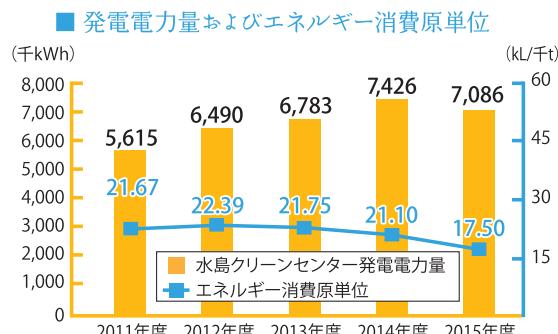
受賞された方々の様子



地球温暖化抑制への取り組み

1. 水島クリーンセンターでの取り組み

水島クリーンセンターでは、下水汚泥と高カロリーの廃プラスチック類を混焼することにより、廃棄物の減量化・安定化を行っています。この施設では、汚泥焼却に必要な燃料を節約し、さらに焼却に伴う熱エネルギーを電気に変え、消費電力の約70%～80%を賄っています。



※エネルギー消費原単位とは、エネルギー消費効率を比較するための単位で、ここでは、原油換算エネルギー使用量(kL)／汚泥処理量(千t)で計算しています。

RDF(廃棄物固形燃料)等の活用、ポンプの電動機等を省エネタイプのものに更新することで、灯油使用量や電気使用量を抑えました。また、機器点検の確実な実施や運転方法の見直しにより焼却炉のトラブル時・立ち上げ時の灯油使用量を大幅に削減しました。



水島クリーンセンター

施設の運転管理

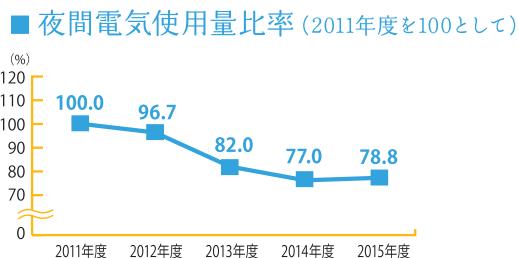
RDF(廃棄物固形燃料)

【水島クリーンセンターにおける環境目標と取組結果】

テー マ	省エネルギーの推進	
目 標	水島クリーンセンターにおける灯油使用量をトラブル時115kL以下、立上時150kL以下に抑える	
取組結果	達成	機器点検による異常の早期発見、運転方法の見直し、RDF・RPFの使用等により灯油使用量をトラブル時3.7kL、立上時102.3kLに抑制

2. オフィス（内尾事務所）での取り組み

電気、ガソリン、LPGなどエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。2015年度の目標として、エネルギー使用量の対前年度比1%削減を掲げました。省エネ活動として内尾事務所で不要な空調停止や不使用エリアの消灯、ノーカー残業デー（週1日）設定等による節電を啓発、実施した結果、目標を上回る2.5%減を達成しました。



【内尾事務所における環境目標と取組結果】

テー マ	省エネルギーの推進	
目 標	内尾事務所でのエネルギー使用量を1%削減(2014年度比、原油換算)	
取組結果	達成	空調運転方法の見直し、パソコン等OA機器の待機電力の削減、ノーカー残業デーの実施等により2.5%削減



地域貢献への取り組み

1. 水島処分場跡地への植樹活動

水島処分場は貴重な瀬戸内海の一部を埋立していることから、豊かな緑の空間を創造し、快適な生物環境の保全に貢献するとともに、海側からの景観や眺望を良好にするために、『処分場からみどりの森へ』をコンセプトとした植樹活動を行っています。

その活動は、2013年に埋立完了した水島第1処分場跡地において、未来を担う子どもたちに自らの手で木を植える、という体験を通して自然環境や郷土を大切にする心を育んでもらいたい、との思いから毎年地元の小学生のみなさんをお招きして、地域貢献活動として開催しています。

2015年度は、倉敷市立第四福田小学校4年生のみなさん(108名)が、シャリンバイやウバメガシなどの苗木を計616本植樹してくれました。

植樹活動を体験した小学生のみなさんが大人になり、子どもたちに「あの森は、お父さん、お母さんが植えたんだよ!」と話しかける日が来るまで、『水島の森』となるよう大切に育てていきたいと思います。

また、植樹活動の後は、産業廃棄物を埋立している『第2処分場』、下水汚泥と廃プラスチックを混焼する『水島クリーンセンター』や、家庭で使われたビンを再利用できるよう選別する『倉敷市資源選別所』を見学いただき、資源の大切さについて学んでいただきました。

こうした地域に根差した学習の場を提供することによって、『環境保全を意識して自ら行動できる人材』を育成することも当事業団の重要な使命のひとつを考えています。



植樹直後(3年前、左)と現在(右)の様子

2. 児島湖ふれあい環境フェアへの参加

児島湖流域の水質浄化などについての県民の意識と関心を深めるため開催されている「児島湖ふれあい環境フェア」にブース出展し、我々の暮らしから排出される下水汚泥を最終処分するまでに当事業団が果たしている役割をクイズ等を通じて学んでいただきました。





地域貢献への取り組み

3.企業のための環境基礎講座(セミナー)

「事例で学ぶ! 土壤汚染の予防と対策」と題して、企業様向けのセミナーを開催しました。土壤汚染に関する知識や法制度が社会にまだ充分に浸透しているとはいえない状況下、土壤汚染に対する正しい知識と適切な調査・対策を普及・啓発することを目的として開催し、「法令と行政手続き」、「環境汚染予防活動」、「土壤汚染対策」の3つの内容で行政、企業の方から講演頂き、116名の来場をいただきました。



講座の様子

【環境調査部における環境目標と取組結果①】

テー マ	安定的な運営と地域貢献の実現	
目 標	環境調査部の収益性改善	
取組結果	 達成	営業訪問による顧客ニーズの把握458件(目標180件) 売上増加と経費削減具体策の立案

【環境調査部における環境目標と取組結果②】

テー マ	安定的な運営と地域貢献の実現	
目 標	土壤汚染対策調査事業の充実	
取組結果	 達成	環境セミナーの開催(116名参加)、技術勉強会の実施、業務マニュアルの作成

4.昆虫合宿

■ 岡山理科大学 動物学実習業務受託

岡山理科大学の動物学講座の3回生が履修する実習を当事業団が受託し、実施しました。卒業研究に取り組む前の学生に、生物に関する基礎的知識と専門技術を身につけてもらうというので、大学による単位認定もあり、21名(男13名、女8名)の学生の参加がありました。

講師は当事業団の職員が務め、昆虫採集をする意義、採集現場の実際についての講義や、国立吉備青少年自然の家での昆虫採集、同定、標本作製等を行い、「実技についての理解が進んだ」と多くの感想をいただきました。



昆虫合宿の様子



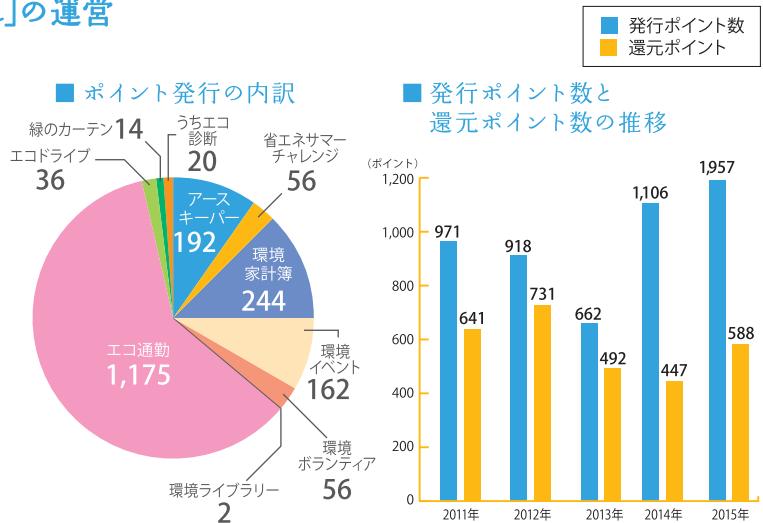
地域貢献への取り組み

5. 環境活動

■ 独自エコポイント制度「かんぽん」の運営

「かんぽん」は、環境保全事業団職員の「環境に優しい行動」に対し、当事業団がエコポイントを付与しエコアクションを応援する、2010年10月に創設した制度です。家庭での省エネ、環境ボランティアの参加、環境家計簿の提出などのエコアクションでポイントがもらえ、貯めたポイントでエコ商品と交換したりと、一人ひとりが「自分のために」「地域のために」という意識で楽しみながら参加できる工夫を盛りこみ、活動しています。

2014年度からは、職員が貯めたポイントと同額を地域支援という形で還元する活動にも取り組み始めました。



■ 「かんぽん」で地域貢献

2015年12月15日、環境学習に役立ててもらおうと、興除小学校に気象や動植物に関する図鑑を寄贈しました。この寄贈は当事業団の職員がエコ通勤や緑のカーテンなど指定された環境活動に取り組むとポイントが貯まり、そのポイントに応じて地域の小中学校などに物品が支援されるという仕組みです。

また「かんぽん」で貯めたポイントは地産商品と交換できるなど、職員にとっても、地域に貢献しながら取り組みの継続をしやすいよう整備しています。今後も職員の環境活動を更に推し進めるとともに、地域への支援を継続したいと考えています。



寄贈した学校と寄贈品

興除中学校	ミニくまで20個
藤田中学校	フィールドスコープ一式
興除小学校	図書資料5巻
第一藤田小学校	飼育ケース10個



■ 児島湖畔環境保全アダプトおよび児島湖清掃大作戦への参加

アダプトとは、「養子縁組を結ぶ」という意味です。この事業は、参加団体が児島湖流域の「里親」となり、ボランティアとして県民共有財産である児島湖畔を自らの「養子」とみなして清掃美化活動を行うもので、岡山市南区の妹尾川河口周辺のボランティア清掃に取り組んでいます。また、児島湖の環境保全対策として行われている児島湖清掃大作戦にも毎年参加しています。



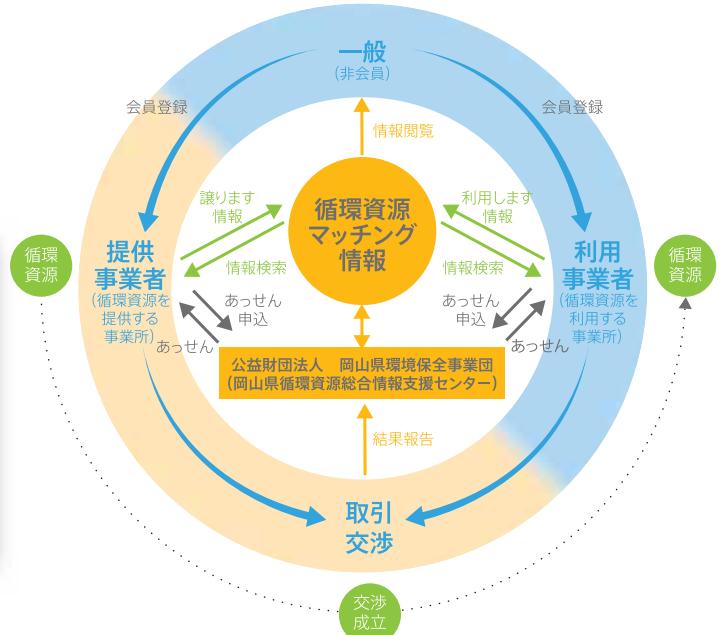
清掃活動の様子



循環型社会形成への取り組み

1. 岡山県循環資源総合情報支援センターの取り組み

『岡山県循環資源総合情報支援センター』として、『循環資源マッチングシステム』を運用し、循環資源(廃棄物)の循環的な利用に取り組んでいます。このシステムは、循環資源を提供する事業者と利用する事業者を紹介するもので、2016年3月末で、414件の循環資源登録がありました。



2. 残土処理センターの取り組み

1994年から岡山県が整備した施設において、岡山県内の公共工事から発生する残土の適正処理並びに有効利用を行い、公共事業の円滑な運営並びに生活環境の保全に寄与しています。



残土処理の様子

3. 倉敷資源化センターの取り組み

1996年から水島処分場の埋立跡地の一角に倉敷市が整備した施設において、知的障害者支援の一環として、NPO法人と協働しながら倉敷市の家庭から出されたびん類をリチナブルびんとカレット(色別)に選別しています。



びんの選別作業の様子



安全管理への取り組み

1. 安全衛生パトロール等の実施

職員の安全衛生意識の高揚と労働災害の発生しない職場づくりを目指し、安全衛生パトロールを実施しています。

特に安全衛生上の配慮を必要とする部署については毎月パトロールを実施するとともに、全団的な取り組みとして安全衛生コンサルタントをお招きし、役員や他部署職員参加型の安全衛生パトロールを年1回、3日間に渡り全部署で実施しています。自部署職員以外の視点で職場をパトロールすることで、安全面や衛生面において新たな指摘や提案が生まれるというプラスの効果がもたらされています。



防災訓練の様子

さらに、毎月の安全衛生委員会の場で、指摘事項や改善対応についての報告・共有を行うことの他、職員から労働災害ゼロの標語を募集し、選ばれた標語を周知することで、職員の安全への意識高揚を図る等、安全衛生活動の継続的な改善に努めています。

また、危機管理マニュアル「自衛活動計画」に基づき、地震発生時等の初動対応の確認を行うための防災訓練や、緊急時に職員の安否を確認するための安否確認システムのテストを定期的に実施しています。

2. 5Sの全社活動

当事業団では、第四期中期経営計画における活動計画として「全団的な5S活動の推進」を掲げ、職員にとっての「働きやすい職場」、来訪者にとっての「きれいな職場」づくりを目指し、積極的に取り組んでいます。

2015年度は、5S活動方針の表明として、理事長による「全団的な5S活動の推進」の宣言の後、役員や部所長を中心とした各種活動を行いました。

具体的には、3点設定した団共通重点取組テーマへの取り組み、年2回の全団的な5Sパトロールや部所長会議での定期的な報告会による情報共有等を行いました。また、他社視察や事務局からの5S情報の発信により、5S活動について職員の理解が深まるような活動を企画、実施しました。



5S活動の様子

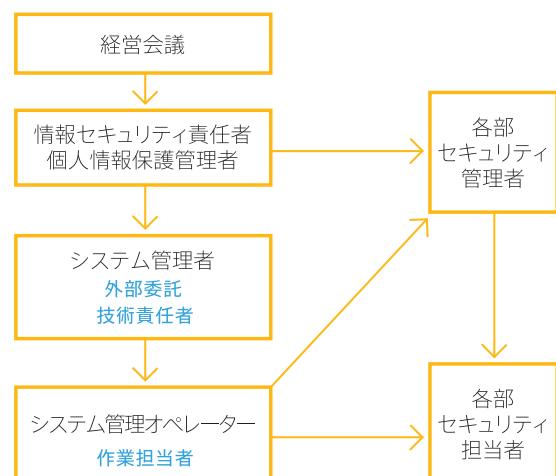


改善前(左)と改善後(右)



3. 情報セキュリティに関する取り組み体制、教育の実施状況

事業団内における情報保護、漏えいの防止などについてセキュリティポリシーを制定し、セキュリティ体制を構築しています。また、システム管理者を外部専門家に依頼し、常に新しい情報を得るとともに、セキュリティ強化対策を実施しています。団内でも年に1回全職員を対象にポリシーの再認識と情報漏えいの防止、ウイルスなどの脅威についてセキュリティ教育を実施しています。





人材育成・職場環境向上への取り組み

1.研修・育成制度

■外部セミナー研修

2011年度より外部セミナーを中心とした人材育成施策を取り組んでいます。職員に計画的な受講機会を提供でき、受講者評価が高い研修を検討した結果、現在「7つの習慣」をベースにした外部研修や階層別の管理職研修などを運用しています。2015年度からは、受講者個人の意識変化を組織力に変えていくため、社内での集合研修等にも取り組んでいます。

■OJT教育

日頃の業務を通じた職員個々の能力向上を目的として、OJT制度(On_the_Job_Training)を2014年度に導入しました。この制度では、まず職種ごとに業務内容を洗い出し、必要なスキルを整理した一覧表を作成しました。この一覧表をもとに、期初面談時に、部下が将来目指したい姿と、上司の育成計画の認識合わせをした育成計画をまとめ、面談と日頃の業務を通して能力向上に取り組んでいます。

■資格取得支援・通信教育支援

職員個々の自主的なスキル向上を支援することを目的に導入しており、環境学習インストラクター、環境カウンセラー、環境計量士、環境騒音振動測定士初級、行政書士などの資格に職員がチャレンジして取得しています。職員の多くが業務外にも何らかの資格を自主的に取得することにつながっています。

■業務報告会

事業団では、部門ごとに業務が異なっており、ローテーションとは別に、職員間の相互の業務理解の必要性が指摘されていました。そこで、2013年度より、各部持ち回りで毎月、業務を紹介する報告会を開催しています。これにより、職員相互の業務理解が進みつつあります。

2.出産・子育て支援制度

働きやすい職場環境づくりの一環として、出産・子育て支援制度があります。

分娩予定日前8週間目(多胎妊娠の場合にあっては14週)にあたる日から分娩の日後8週間目にあたる日までの期間取得可能な産前産後休暇、子が3歳に達する日の前日までを限度として取得することが出来る育児休業、男性についても最大8日取得可能な出産補助休暇など、いずれも法律を上回る制度があります。

さらに、職場復帰後の制度としては、時間外労働の免除や制限、育児短時間勤務や子育て休暇等があり、実際に多くの対象職員がこれらの制度を上手く活用しながら仕事と育児の両立をしています。

職場復帰後の女性職員の継続勤務率は現在100%であり、今後も各種制度の充実だけでなく、活用しやすい職場環境の実現に取り組んでいきます。

3.メンタルヘルスケアの推進

事業団では、中長期的な視野で以下の4つの取り組みを継続的に行うことにより、効果的なメンタルヘルスケアを推進しています。

(1)メンタルヘルスケアの教育研修、情報提供

自分で行うストレスへの気づきと対処を目的としたセルフケア研修や、管理監督者が行う職場環境等の改善と相談への対応、メンタルヘルス不調者の早期発見を目的としたラインケア研修の実施。また、全職員へ向けた定期的なメンタルヘルスケアのための情報提供。

(2)職場環境等の把握と改善

安全衛生委員会を通して、各部署の様々な視点での職場環境等の把握と改善の実施。

(3)メンタルヘルス不調への気づきと対応

メンタルヘルス不調に陥る職員が発生した場合に、その早期発見と適切な対応を測ることを目的としたストレスチェックの定期的な実施と、事業場内、事業場外の相談窓口の常設。

(4)職場復帰支援制度

メンタルヘルス不調により休業した職員が円滑に職場復帰し、安心して勤務出来るようにするために策定した職場復帰支援プログラムの活用。

事業所一覧



内尾事務所

〒701-0212

岡山県岡山市南区内尾665-1

TEL.086-298-2122

FAX.086-298-2496



津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ

〒709-4611

岡山県津山市領家1446

TEL.0868-57-0153

FAX.0868-57-2226



岡山県自然保護センター

〒709-0524

岡山県和気郡和気町田賀730

TEL.0869-88-1190

FAX.0869-88-1195



水島管理事務所

〒712-8074

岡山県倉敷市水島川崎通1-18

TEL.086-440-0666

FAX.086-444-2933



環境学習センター 「アスエコ」

〒700-0907

岡山県岡山市北区下石井2-2-10

TEL.086-224-7272

FAX.086-224-7273



倉敷市資源選別所

〒712-8074

岡山県倉敷市水島川崎通1-18

TEL.086-447-4850

FAX.086-444-4575

CSR報告書について

本報告書に関するお問い合わせは、下記までお願ひいたします

公益財団法人岡山県環境保全事業団総務企画部

〒701-0212 岡山県岡山市南区内尾665-1

TEL:086 - 298 - 2122 FAX:086 - 298 - 2496 URL:<http://www.kankyo.or.jp>